

2月

生き生き韓国文化



旧暦1月1日：ソルラル

2028 ソルラルとは？

今年の新暦1月22日(日)に当たる「ソルラル」とは、一年の最初の日を表す韓国の単語で、新暦と旧暦の両方をひっくるめていう言葉です。ただ、現代に入ってからソルラルというと、旧正月(旧暦のお正月/以下、これをソルラルと表記)だけを思い浮かべることが多いです。ソルラルは秋夕(旧暦8月15日)とともに、当日前後を合わせた計3日間は法定休日になる韓国の代表的な祝日です。

2028 トックッ



「トックッ」とは、ソルラルを代表する韓国料理で、「떡/トッ」は餅を、「국/クッ」はスープを意味します。牛骨スープがベースになって、餃子と一緒に煮て食べたり、上に錦糸卵、海苔などの薬味をのせて食べたりします。トックッに入っている餅はコインのような丸い形をしていることから金運を、白いスープはすっきりと新年を迎えることを意味します。

前回紹介した通り、韓国は数え年を使っているので、新年の始まりであるソルラルにトックッを一杯食べると1歳年を取るという言葉が生まれました。その為、昔は「トックッ何杯食べましたか」と年齢を聞いたことから、「添歳餅(チョムセビョン)」という別名も持っています。



長い餅（切る前）
長寿



丸い餅
金運



白いスープ
新しい出発

2428 歳拝(セベ)



歳拝とはソルラルに、目下の人が目上の人にお辞儀をする風習をいいます。歳拝のために、「절/チョル」というひざまずいて頭を下げる挨拶をするのですが、これは敬意や感謝を表す最も丁寧なお辞儀です。日本の土下座は、謝罪や懇願の意味がありますので、まったく別物ということです。

そして、子供たちが大人に歳拝をしてもらうお金を「歳拝金(セベドン)」と呼びますが、家族構成員の数によって受け取る金額が千差万別です。一般的に小学校-中学校-高校-大学の順に受け取るお年玉の金額も大きくなり(1万/3万/5万/10万ウォンなど)、就職する前までもらう場合が多いです。

2428 茶礼(チャレ)



チャレとは、ソルラルや秋夕(チュソク/旧暦8月15日)などに行う祭祀のことです。チャレは祖父母、両親の2代目に対して祭祀を行うのが普通で(昔は高祖父母から始まって4代目をもてなしたそうです)、一般的な家庭では実家のリビングルームで行います。ソルラルのチャレはトックツを基本とし、果物、魚、肉、ナムル、チヂミなどの様々な料理を供えます。祭事の際にはいろいろな手続きがありますが(下記のQRでご確認ください)、その中でもチョルを連続で2回行うのが一番大きい特徴です。同じお辞儀ですが、生きている人に対しては(のよう)1回、死者に対しては2回やるのが正しい方法です。

名前にお茶が入るのは高麗時代(918-1392)、お茶を祭祀膳に供えた文化の名残です。その名の通り、本来はお茶を供えましたが、儒教を崇拝し、仏教を抑制していた朝鮮時代、仏教色を取り除き、お茶の代わりにお酒を供えるものに変えました。しかし、依然として一部の家門は車を上げて祭祀を行っているということです。

